

**平成25年度**

**教育委員会事務の点検・評価**

**(平成24年度実績)**

**平成26年3月**

**朝来市教育委員会**

## 1 はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）第 27 条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することが義務付けられています。また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

朝来市教育委員会（以下「委員会」という。）では、法の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たすため、平成 24 年度における本市の教育に関する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い報告書としてまとめました。

また、「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」については、点検及び評価の公正性、客観性を確保するためのものであり、外部評価者として本年度より 神戸親和女子大学教授 新保真紀子 氏に専門的な立場から評価と指導を頂きました。

### 【参考】

#### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

**第 27 条** 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

**2** 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 点検・評価の目的

点検・評価を実施することにより、事務事業の課題や取組みの方向性を明らかにすることができ、教育行政の効果的な推進が図れるとともに、点検・評価の結果に関する報告書を広く公表することによって、市民に対する行政の透明性の確保と説明責任を果たし、教育行政への理解を図ることを目的としています。

## 3 点検・評価の方法

点検・評価の方法は、本市が毎年実施している行政評価システム（市長部局で実施している市全体の事務事業を対象とした評価システム）を活用しています。

掲載しています事務事業については、平成24年度に教育委員会が実施いたしました全ての事務事業の中から、そのあり方を検証する必要性が高いと判断される主要な事務事業を選定したものです。

点検及び評価の方法としては、個々の事務事業における「妥当性」、「有効性」及び「効率性」の観点から総合評価を行い、更に今後の方向性を「拡大」、「現状維持」、「方法改善」、「民間委託等」、「縮小」「廃止・休止」の6段階に区分して評価を行いました。

総合評価は、事務事業を統一的な基準によって判断した結果であり、判定結果による善し悪しを示すものではありません。事務事業の実施結果から次の改善へ向けた動機づけと捉えています。評価後の方向性との関係は、A判定＝拡大、D判定＝廃止・休止とする関係にはありません。A判定であっても方法改善が必要な場合もありえますし、D判定であっても現状維持とする場合もあります。

## 4 点検・評価の対象事業

点検・評価の対象事業は、次の45事務事業とします。 (評価書ページ)

- |                      |           |   |
|----------------------|-----------|---|
| (1) 教職員研修事業          | (学校教育課) P | 1 |
| (2) コミュニティ・スクール推進事業  | (学校教育課) P | 1 |
| (3) 学校評議員会運営事業       | (学校教育課) P | 1 |
| (4) 帰国・外国人児童生徒受入促進事業 | (学校教育課) P | 1 |
| (5) 特色ある学校づくり事業      | (学校教育課) P | 1 |
| (6) 学校音楽祭開催事業        | (学校教育課) P | 2 |

(7) 自然学校環境体験事業	(学校教育課)	P	2
(8) トライやる・ウィーク推進事業	(学校教育課)	P	2
(9) 英語指導助手設置事業	(学校教育課)	P	2
(10) 道徳教育推進事業	(学校教育課)	P	3
(11) 要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	(学校教育課)	P	3
(12) 特別支援教育就学奨励事業	(学校教育課)	P	3
(13) 学びのサポーター配置事業	(学校教育課)	P	3
(14) 財産管理事業	(学校教育課)	P	3
(15) 校庭芝生化事業	(学校教育課)	P	4
(16) 遠距離通学支援事業	(学校教育課)	P	4
(17) 小学校維持管理事業	(学校教育課)	P	4
(18) 梁瀬小学校大規模改造事業	(学校教育課)	P	4
(19) 小学校整備事業	(学校教育課)	P	4
(20) 小学校教育振興事業	(学校教育課)	P	5
(21) 中学校維持管理事業	(学校教育課)	P	5
(22) 中学校整備事業	(学校教育課)	P	5
(23) 中学校教育振興事業	(学校教育課)	P	5
(24) 生野中学校大規模改造事業	(学校教育課)	P	6
(25) 和田山中学校大規模改造地震補強事業	(学校教育課)	P	6
(26) 朝来中学校大規模改造地震補強事業	(学校教育課)	P	7
(27) 公立こども園運営事業	(こども育成課)	P	7
(28) 幼稚園運営事業	(こども育成課)	P	7
(29) 幼保一元化施設整備事業	(こども育成課)	P	7
(30) 次世代育成支援地域行動計画推進事業	(こども育成課)	P	8
(31) 給食共同調理施設運営事業	(学校教育課)	P	8
(32) 社会体育事業	(社会教育課)	P	8
(33) 体育施設整備事業	(社会教育課)	P	8
(34) 温水プール運営管理事業	(社会教育課)	P	8
(35) 埋蔵文化財センター運営管理事業	(社会教育課)	P	9
(36) 歴史資料館運営管理事業	(社会教育課)	P	9
(37) 文化財保護調査・啓発事業	(社会教育課)	P	9
(38) 文化財保存活用事業	(社会教育課)	P	9
(39) 社会教育総務事業	(社会教育課)	P	10
(40) 生涯学習推進委員設置事業	(社会教育課)	P	10
(41) 図書館運営管理事業	(社会教育課)	P	10
(42) 公民館運営管理事業	(社会教育課)	P	10

- |                     |               |
|---------------------|---------------|
| (43) 少年少女オーケストラ事業   | (社会教育課) P 1 0 |
| (44) 野外活動施設運営管理事業   | (社会教育課) P 1 1 |
| (45) 両親教育インストラクター事業 | (社会教育課) P 1 1 |

## 5 教育委員会の構成 (平成 24 年度)

(平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月)

役 職	氏 名	任 期	職 業 等
委員長	藤 本 義 性	H21. 5. 24～H25. 5. 23	僧侶
委 員	佐 藤 千 栄 子	H21. 5. 24～H24. 5. 23	無職
委 員	足 立 弘 子	H22. 5. 24～H26. 5. 23	無職
委 員	藤 井 義 正	H23. 6. 7～H27. 6. 6	無職
委 員	松 本 み ゆ き	H24. 5. 24～H28. 5. 23	無職
教育長	垣 尾 幸 博	H21. 6. 1～H25. 5. 31	元校長

## 6 教育委員会の開催状況

(平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月)

回数	開催日	開催場所	協議事項等
第 1 回	4 月 22 日	朝来庁舎	朝来市生野義孝 150 年記念事業検討委員会要綱について/平成 23 年度末朝来市内中学生の進路状況について/朝来市幼稚園・小学校・中学校教職員防災初動マニュアルについて/平成 24 年度市内小・中学校管理職等名簿一覧について/平成 24 年度研究等指定校について/平成 24 年 4 月現在の児童生徒数について/平成 24 年度特別支援学級児童生徒等について/平成 24 年度教育委員会年間行事予定について/その他について/次回教育委員会の日程について
第 2 回	5 月 22 日	和田山農業研修センター	朝来市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則について/朝来市少年少女オーケストラ設置要綱について/平成 24 年度市内小中学校修学旅行計画について/平成 24 年度朝来市小学校自然学校活動計画について/平成 24 年度「トライやる・ウィーク」受け入れ事業所について/その他について/次回教育委員会の日程について
第 3 回	5 月 29 日	埋蔵文化財センター	朝来市教育委員会委員長の選任について/朝来市教育委員会委員長職務代行者の選任について/朝来市学校給食運営委員会委員の選任について/次回教育委員会

			の日程について
第4回	6月26日	埋蔵文化財センター	6月定例議会補正予算及び一般質問について/平成24年度学校訪問について/平成24年度夏季休業日中の生活指導について/ASAGO国際音楽祭について/平成24年外国人英語指導助手の配置計画について/こども園工事関係について/その他について/次回教育委員会の日程について
第5回	7月24日	朝来市福祉事務所	朝来市指定文化財の指定について/生徒指導等について/市内こども園、幼稚園・小学校運動会、中学校体育祭について/学校訪問について/教職員綱紀粛正について/休校等の緊急時対応について/朝来市少年少女オーケストラ第2回ヨーロッパ遠征友好演奏会の行程について/わんぱくキッズ2012について/その他について/次回教育委員会の日程について
第6回	8月31日	朝来庁舎	中学校校舎改築について/こども園園舎工事について/東河小学校センダンの木伐採について/朝来市におけるいじめ問題への対応について/休校等の緊急時対応について/夏季休業日中の中学校部活動の結果について/その他について/次回教育委員会の日程について
第7回	9月27日	ジュピターホール	朝来市図書館条例施行規則の一部を改正する規則について/9月定例議会一般質問(教育委員会関係)について/平成24年度朝来の教育について/学校評価の実施について/いじめ調査について/学力学習状況調査について/学校訪問について/その他について/次回教育委員会の日程について
第8回	10月16日	朝来庁舎	朝来市いじめ防止対策推進委員会設置要綱の制定について/朝来市多子世帯保育料軽減事業(公立幼稚園)実施要綱の制定について/平成25年度朝来市教職員異動方針(案)について/教育月間の取組について/わんぱくキッズ2012入場者数について/その他について/次回教育委員会の日程について
第9回	11月27日	朝来老人福祉保健センター	朝来市体育指導委員に関する規則の一部を改正する規則の制定について/学校薬剤師に対する年額報酬に関する要望書について/12月補正予算について/平成25年度朝来市教育事業について/朝来市教育研修所

			平成 25 年度組織図及び事業概要について/中学校新入 体育大会の結果について/保育所・幼稚園・学童クラ ブの入園・入所について/その他について/次回教育委 員会の日程について
第 10 回	12 月 18 日	朝来庁舎	第 21 回朝来市議会定例会一般質問について/平成 25 年度(2013)指導の重点(案)について/朝来市いじめ 防止対策推進委員会について/教職員綱紀粛正につい て/平成 25 年度兵庫県教育委員会連合会事業予定につ いて/山東公民館管理業務委託について/平成 24 年朝 来市成人式について/その他について/次回教育委員 会の日程について
第 11 回	1 月 22 日	朝来庁舎	新通学区域に係る公立高等学校入学者選抜の改善に ついて/業務改善に向けた努力目標 2013 について/職 場におけるセクシャル・ハラスメントの防止に関する 指針について/平成 25 年度児童生徒数について/その 他について/次回教育委員会の日程について
第 12 回	2 月 21 日	埋蔵文化 財センタ ー	教育委員会関係の条例の改正について/教育委員会関 係施設の指定管理者の指定について/朝来市文化協会 活動補助金交付要綱の制定について/朝来市立学校に おける学びのサポーター(学校生活支援員)配置要綱 等の制定について/平成 25 年度教育委員会関係予算の 主な内容について/管理職選考結果について/学校で の問題行動について/学校薬剤師の報酬について/平 成 24 年度卒業(園)式、平成 25 年度入学(園)式につ いて/平成 25 年度朝来市「指導の重点」リーフレットに ついて/茶すり山古墳出土品の国重要文化財指定につ いて/その他について/次回教育委員会の日程につ いて
第 13 回	3 月 28 日	和田山公 民館	朝来市図書館条例施行規則の一部を改正する規則に ついて/朝来市要保護及び準要保護児童生徒就学援助 費支給要綱の一部を改正する要綱について/朝来市市 民体操普及委員会設置要綱を廃止する告示について/ 朝来市指定文化財の指定について/第 23 回朝来市議会 定例会一般質問について/平成 24 年度末人事異動につ いて/平成 24 年度教育委員会事務の点検・評価につ いて/平成 24 年度学校評価について/平成 25 年度朝来市

			の教育について/いじめ対応マニュアル(県教育委員会)について/平成 24 年度全国学力・学習状況調査の結果について/平成 24 年度末・平成 25 年始めの教育委員会スケジュール(案)について/平成 25 年度教育委員会年間行事予定について/その他について
--	--	--	--

## 7 外部評価者の意見 (評価者：神戸親和女子大学教授 新保真紀子 氏)

### 【教育委員会の活動状況及び総括的事項について】

教育委員会は、13回にわたる定例会において、審議・議決を適切に行っている。さらに学力向上やいじめなど学校教育の重点的政策や文化・体育等の関連行事についての紹介等も丁寧に行い、活発な委員会運営をおこなっている。

また、教育委員会事務の点検・評価に関しても、各事業をほぼ計画通り、適正に実施し、各事業についてもA～F段階評価がなされ、重点的に継続する項目や事業終了・廃止の項目など、分かりやすく適正に評価されている。

### 【各事業についての評価と課題】

#### (1) 重点課題の評価と事業拡大について

##### ①学校教育の充実

事業評価の中でもA評価で次年度の拡大が見込まれる項目に、児童生徒の学力向上につながる「英語指導助手設置事業」・「学びのサポーター配置事業」が挙げられ、また、子どもたちの社会性や自尊感情を育み、社会規範を育てる「道徳教育推進事業」の充実も掲げられている。今、子どもたちの置かれている状況や保護者のニーズに鑑みて、これらの事業拡大の妥当性は大きいと判断される。

とくに、今後、学力向上を目指す方策として、一つは中学校区で保幼(こども園)小中連携を具体的に推進する実効性のあるモデル事業等が求められていると考える。具体的にはカリキュラムの接続作業や教職員の交流(可能ならば人事交流も含めて)を推進することも必要ではないだろうか。それぞれが自己完結して閉じられた学校園から、地域(校区)で子どもを育てる教育へと、長いスパンの視点をもって連携を深めていく必要がある。また、学校の「荒れ」は、教師も子どもも協同的に学び、活動することなしには克服できない。「学ぶ楽しさ」を味わえる工夫を、幼児期から連携して進めることが必要と考える。またe-learningはこれからの子どもたちに不可欠であり、ICTを活用した授業で世界とつながることも視野に入れた事業を期待したい。



## ②幼児教育の充実

同じくA評価となっているのが「公立こども園運営事業」と「幼保一元化施設整備事業」であるが、これも妥当な評価と言える。公立こども園を長期的な計画のもとに着実に実現してきた朝来市の取り組みは、全国的に見ても大いに評価できるところである。今後は、施設づくりというハード面から、いよいよこども園のカリキュラム化やそれに基づく教育実践を充実させるというソフト面の真価が問われている。今後、公立こども園と公私立の幼稚園・保育所との交流により、朝来市全体の乳幼児教育のレベルアップを求めたい。同時に学校教育と幼児教育の接合を図るスタートカリキュラムづくりにむけて、効果ある小学校連携を求めたい。

## ③地域の文化継承事業の推進

「文化財保存活用事業」もA評価としている点についても、朝来市民のみならず全国の人々が大いに認めるところであろう。今後、各種の史跡の保存とその有効的な活用をめぐる、対立的な意見も起きてこようが、古代から近代に至る歴史的価値の高い史跡や史実をもつ朝来市の文化的財産を、子どもたちにもどのように継承していくかについて、こども参画型で具体的な提案を求めたい。

## (2) 事業の拡大と整理

朝来市教育委員会は、先見性を持った事業も数多く実施している。小学校英語や中学校における国際交流行事などの推進、国際的な芸術文化交流やスポーツ振興など、グローバルな視点をもった事業も活発である。また、公立こども園化の推進や保育料の軽減化等、子育て支援の施策も他市町村より抜きんできている。こうした先見性のある事業による子育て・子育て支援を惜しまない積極性を大いに評価するところである。

その一方で、多くの事業が立ち上がることで、マンパワーや財政面での工夫も強いられる。スクラップアンドビルドは必至であり、次年度廃止または縮小される各種事業や、新たに俎上にあげて吟味する事業についても、大胆な発想と実効性が求められる。民間委託や民間の補助金活用で、より効果的な事業展開を追求して戴きたい。

さらに、現代の学校が抱えるいじめや「荒れ」などに迅速に対応できるように、教育委員会が率先して、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・医者・弁護士や専門機関などによるサポートチームの充実を進め、学校支援にあたる必要がある。また、スクールリーダーには、チームを率先してまとめ、学校園の課題解決や改革案を提案できる能力が求められており、ミドルリーダーを含むリーダー研修も組織的系統的に行う必要がある。

今後も学校や地域で生起している教育課題を丁寧に把握し、その対応を誠意をもって図ること、そして地域住民の学校・教育行政に対する意見や要望の把握に努め、地域に根ざした朝来市の教育に対する信頼をさらに高めていただきたい。

\*\*\*\*\*

## 8 まとめ

平成19年度から始めた事務事業評価ですが、平成20年度評価からは外部評価者として京都教育大学大学院教授 笠沙知章 氏に、平成25年度評価からは、神戸親和女子大学教授 新保真紀子 氏にご指導をいただいております。今年で5度目を迎えました。毎回、適切に評価いただき、貴重な意見も教授していただきました。今後も、継続した専門的な立場からの外部評価をお願いしたいと考えています。

24年度は、耐震化率100%をめざした校舎改築、道徳教育推進事業、「いじめ防止対策推進委員会」の立ち上げ等に取り組みました。全体的な評価については、着実な事業進行が図られているとのご意見を頂いたところではありますが、個々には改善や検討を要する事項についてさらに改善が必要であるとのご指摘もいただきました。特に、スクラップアンドビルドが必至であるとのご指摘は、真摯に受け止め、教育委員会において十分に検討と改善を図り、次年度以降に反映させていきたいと考えています。

事務事業評価の結果については、本市教育委員会事務局がしっかりと理解し、各事業がめざす目標について再認識を図ると共に、より一層の工夫・改善に努め、市長部局とも密に連携を取りながら、市民に信頼される教育行政の推進に努めてまいります。